

令和6年(2024年)8月5日

CTO School 2024 参加報告書

氏名：Sunghyun Bang
所属：CR 研究室 (D2 学年)
滞在期間：令和6年6月15日～7月1日
滞在先：Bertinoro, La palma
滞在国内：イタリア、

私は、2024年度の6月16日から22日まで Bertinoro で、6月22日から29日まで Laplana の CTAO スクールに参加しました。

6月16日から22日までの間、Bertinoro において宇宙線物理学の専門家を招き、講義や議論が行われました。宇宙線加速機構、宇宙ジェット、天体物理学などの分野において、それぞれの専門家が集まり、講義を受けたり、さまざまな議論を交わしたりしました。また、他国の学生が行っている研究についても聴講し、私の宇宙物理学に関する知識や研究の視野が広がりました。

6月22日から26日まで、Laplana に移動し、海面レベルのホテルでまずガンマ線望遠鏡の観測原理やデータ処理に関する専門家から講義を受け、議論を行いました。

そこで、私の研究「**Possibility of using the time evolution of the Cherenkov photons in the reconstruction of gamma-ray shower**」について口頭発表を行いました。私の研究を始めて以来、所属している Cherenkov Telescope Array Observatory (CTAO) で専門家の前で発表し、貴重なコメントをいただきました。6月22日から29日まで、ガンマ線望遠鏡が設置されている場所に移動し、実際の観測の様子や望遠鏡の構造を見学しました。また、周辺にある光学望遠鏡を見学し、そこで専門家から光学望遠鏡の観測原理について説明を受けました。

海外の派遣の費用を支援していただいた故上出洋介名誉教授ご遺族から宇宙地球環境研究所にいただいた寄付金が充てられました。ここに感謝申し上げます。

<指導教員>

田島 宏康